

平成22年度 第3回三条市子ども未来委員会会議録（概要）	
日 時	平成23年3月23日（水）10時00分～11時40分
会 場	市役所栄庁舎2階 201会議室、栄中央保育所
出席者	<p>検討委員：橘委員長、佐藤委員、小林（吾）委員、齋藤委員、古川委員、荒木委員、田中委員、近藤委員、藤田委員、小林（尚）委員</p> <p>事務局：久住子育て支援課長、蝶名林課長補佐、五十嵐係長、知野主任、阿部指導主事（学校教育課）</p> <p>報道機関：なし</p> <p>傍聴者：なし</p>
委 員 会 内 容	
橘委員長	<p>これから平成22年度第3回三条市子ども未来委員会を開催する。</p> <p>先回の会議は、8月27日で、すまいる子どもプランの今年度の実施計画と「子育て応援宣言運動」の実施案についての説明があった。</p> <p>今回は、すまいる子どもプランの今年度1月末現在の実施状況について報告していただき、様々な御意見をいただいた後、4月に竣工予定の栄中央保育所の現場を視察したいと考えております。視察を含め、概ね11時45分頃終了したい。貴重な時間なので、有意義に議事を進めたい。御協力願います。出席者数等について事務局からお願いしたい。</p>
蝶名林補佐	<p>本日の出席者数については、10名の委員から出席いただいている。</p> <p>【会議資料の確認、追加配布資料の確認】</p>
橘委員長	<p>では、議題に入りたい。</p> <p>議題（1）すまいる子どもプラン平成22年度実施状況（1月末現在）について、事務局より説明願いたい。</p>
久住課長	<p>【久住課長から議題(1)について説明】</p>
橘委員長	<p>今の説明について、質疑があればお願いしたい。</p> <p>すまいるランドは盛況のようだが。</p>
久住課長	<p>土・日・祝日もやっているところが好評の理由だと思っている。平日は、各支援センターの各種講座やイベントを利用されていると思われる。燕市の「こどもの森」という大きな施設もあるが、すまいるランドが出来てから利用者が減ったかということ、そうでもないの、保護者は色々な所へ足を運んでいると思われる。</p>

橘委員長	夏休みなどもすごい利用がある。
久住課長	それだけニーズがあったと実感している。
橘委員長	情報を発信するということで、もう少し工夫が必要でないか。タクシーの利用や会社の事業等の情報も、もっと発信できればいいと思う。
久住課長	情報発信としては、民間企業の実施していきたくった。携帯電話やメールなどだけでなく、チラシなど目に見えるものを置くコーナーもすまいるランドに作った。個別に情報収集をしたりしてきたが、さらに情報を集めていきたい。
橘委員長	三条市の子育て支援の取組については、とても高く評価されている。私が所属する学会などでも、学会誌に詳しくシステムが紹介されたり、私も全国誌に論文を書いた。また、蝶名林補佐が放送大学で講義されたりして、全国から注目されているシステムだ。多方面にわたっていて、行政として忙しいと思う。
久住課長	教育委員会の中に子育て支援課を作ったので、隣の学校教育課とも連携がとれてきていると思う。保育、福祉、教育と分かれていた時よりは、できなかったものも、一元化されてきたことでの効果が出てきたと思う。今後もこの利点を発揮していきたいと思う。
橘委員長	これからも、改善の余地はあると思う。
小林(尚)委員	P10、No.5の放課後子どもプランで、学童保育は小学校3年生までだと思うが、小学校4年生なら一人で留守番が出来るのか、親の不安が聞こえてくる。このことについてはどうか。
久住課長	放課後子どもプランには、職員を雇用して子どもを預かる児童クラブと、学校を遊び場として開放し、地域の方々とふれあいながら、安心・安全な遊び場を提供する放課後子ども教室という2つの事業がある。 学童保育をするのは、児童クラブと呼んでいるが、国の基準も小学校3年生までだが、小学校6年生まで引き上げたいという意向はある。実情として、ニーズも多いので、どこの施設も追いつかないのが現状である。障がい児や学区外通学など諸事情を抱えている場合や、施設に空きがある場合は、小学校4年生以上も柔軟に受け入れている。しかし、実際には、高学年になると、習い事や遊びの行動範囲も広がってくるので、児童クラブに入れられるのも窮屈になってくるらしい。親は心配して入会させるが、子ども自身は大丈夫ということで、実態は夏休み明けくらいで退会するということが多い。議会等でも小学校6年生まで拡充をと言われるが、実態としては、それほど

	<p>ニーズはないと感じている。そんな中でも、子どもの成長は個人によって大きく違うので、きめ細やかな対応ができればいいと考えている。また、施設毎の対応も違うので、一律というわけにはいかない。厚労省の基準により障がい児等の受入れもしているが、施設面での不十分さや職員の体制など、経費の増大も含め、このプランもまだ課題が多いところである。</p>
近藤委員	<p>うちの子どももそうだった。冬休みから行っていない。</p>
久住課長	<p>保育所までは手厚いが、小・中・高校の放課後の対策がこれからの子育て支援の大きな柱になってくると考えている。</p>
小林(尚)委員	<p>新潟市の事例では、小学校4年生から非行が増え、急遽、小学校6年生まで受け入れるようにした。</p>
久住課長	<p>色々な家庭があるので、子どもの居場所があるということが大事だと思っている。</p>
小林(尚)委員	<p>地域の連携が必要だと思う。</p>
橘委員長	<p>すまいるファイルは、その後もうまく機能しているのか。</p>
久住課長	<p>出生届出時や健診会場で配布し、障がいをお持ちの方にもお配りしている。今年度から、利用者にアンケートを実施し、来年度に向けて、中身も含めて改善していきたいと考えている。</p>
橘委員長	<p>皆さん、活用されているのか。</p>
久住課長	<p>エンジョイパパママ教室や子どもの健診会場で活用方法を説明しているが、予防接種などで持って行かないといけない、という形にして、半強制的に活用しなければいけない仕組み作りが必要と考えている。</p>
橘委員長	<p>自発的に利用される方というのは、ごくわずかかもしれない。利用の仕方をもう少しPRしていくといいのではないか。</p>
久住課長	<p>健診のほかに、訪問したりする際にPRしていきたい。 例えば、女の子であれば、成人して、自分が子どもを生む時に活用することも考えて作っている。有効的に活用してもらえるように工夫していきたい。</p>
久住課長	<p>現在、震災対応として、南相馬市からの避難者を4か所の避難所で受け入れている。 子どもの遊び場の情報を提供したり、すまいるランドで遊んでもらうとか、</p>

	臨床心理士による心の相談、保健師も巡回している。これから、保育所、学校でも受入れが始まってくると思う。市としても、出来る限りの支援をしていきたい。
橘委員長	新潟市でも、福島・いわきナンバーの車がとても増えた。
久住課長	三条市には、3か所に大型バスで避難されてきた。被災で家のない方と、原発事故での避難指示による退避の二極化である。自家用車での避難者は少ない方だが、サンファームという施設に入っている。
橘委員長	子ども連れの場合、子どもは4月からこちらの学校に入るのか。
久住課長	今、ニーズ調査をしている。こちらの関係では、保育所・学校や予防接種のことなどを聞くことにしている。
橘委員長	今後、大変になってくると思うが、がんばってほしい。 では、これで第3回会議を終わりたい。このあと、保育所を視察したいと思う。その前に、事務局から連絡をお願いしたい。
五十嵐係長	これから視察見学をしていただくが、こちらの会場には戻らないので、荷物等は持参してほしい。また、来年度になるが、次回以降の会議開催については、日程が決定次第、連絡したいと考えているので、よろしく願いしたい。 では、栄庁舎玄関前の車で栄中央保育所に向かいたい。視察見学後は、栄庁舎玄関前で解散とする。
橘委員長	ありがとうございました。よろしくお願いいたします。
	【庁用車で栄中央保育所へ移動 — 星野課長補佐から施設について説明】
五十嵐係長	では、これで終了といたします。ありがとうございました。
	(11時40分 終了)